

教育 かしま

第45号

発行日
令和3年3月1日
発行
鹿嶋市教育委員会
連絡先
鹿嶋市教育委員会 総務就学課
Tel0299-82-2911 (内線521)

地域の特色ある教育活動を応援し、開かれた教育環境を推進するための情報を掲載していきます。

児童・生徒1人1台端末 ICT機器を活用する教育



令和3年4月より鹿嶋市内公立小中学校の児童生徒に1人1台端末（ノートパソコン）が貸与されます。

鹿嶋市では、「第Ⅱ期鹿嶋市教育振興計画」及び「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画」に基づき、これまでICT環境の整備等を計画的に進めてまいりましたが、国から「GIGAスクール構想（※1）」を前倒して、1年間で整備する方針変更が示されたことを受け、令和2年度中に公立小中学校の児童生徒に「1人1台ノートパソコン」を整備することになりました。

今回の事業をきっかけに、学校での「学びのスタイル」が大きく変化するとともに、児童生徒のご家庭での「個人学習ツール」としての活用や、さらには、学校とご家庭との「連絡ツール」として利用しますので、ご家庭での生活も大きく変化することが予想されます。

（※1）GIGAスクール構想：1人1台ノートパソコンと、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することにより、多様な子どもたちを取り残すことなく、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する。

ノートパソコンの貸出に係る保護者へお願い

1. ノートパソコン貸出の対象

- 鹿嶋市内公立小中学校に在籍する児童生徒を対象。
※転校や卒業後、学校へ返却となります。

2. ノートパソコンの活用について

- ノートパソコンは、資料や作品の制作など学校の授業において日常的に活用します。
- ご家庭でも使用するために、ノートパソコンを持ち帰り、ご家庭のインターネット環境（Wi-Fi）を利用させていただきます。また、ノートパソコンの充電はご家庭でお願いします。（目安は90分以上です。）

※インターネット環境について、ご家庭で準備が難しい場合は、鹿嶋市教育委員会総務就学課または学校までご相談ください。

3. ノートパソコンの故障・破損・紛失・盗難などのトラブルについて

- 故障や破損または紛失や盗難などが起きた際は、速やかに学校へ申し出ください。
- 万が一、転売等が確認された場合は、法的手段をとることも考えています。

4. ご不明な点については総務就学課へお願いします。

- ご不明な点や相談したいことがありましたら鹿嶋市教育委員会総務就学課へお問い合わせください。

1人1台ノートパソコンにより鹿嶋市の教育が変わります。

①すぐにも、どの教科でも、だれでも使えるICT

(1) 検索サイトを活用した調べ学習

- 一人ひとりが情報を検索し、収集・整理。
- 子どもたち自身が様々な情報にアクセスし、主体的に情報を選択する。



(2) 文章作成ソフト、プレゼンソフトの利用

- 子どもたち一人ひとりが考えをまとめて発表。
- 共同編集で、リアルタイムで考えを共有しながら学び合い。



(3) 一斉学習の場面での活用

- 誰もがイメージしやすい教材掲示。
- 一人ひとりの反応や考えを即時に把握しながら双方向的に授業を進める。



(4) 一人ひとりの学習状況に応じた個別学習(家庭での学習)

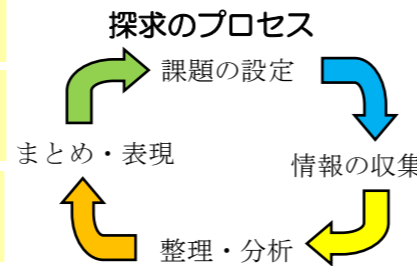
- デジタル教材を活用し、一人ひとりの学習進捗状況を可視化。
- 様々な特徴を持った生徒によりきめ細やかな対応を行う
- 家庭での学習のサポート。



②1人1台を活用して、教科の学びをつなぐ

ICTを含む様々なツールを利用して、各教科の学びをつなぎ探求する教育
探求のプロセスにおける様々な場面において、ICTを効果的に活用することができます。

課題の設定	実社会の問題状況に関わる課題、進路や教科など、横断的な課題などを設定。
情報の収集	文献検索、ネット検索、インタビュー、アンケート、実験など
整理・分析	統計による分析、思考ツールなどで分析。
まとめ・表現	文章作成、プレゼンテーション、提言などで発信。



(GIGAスクール構想の実現へ(文部科学省)をもとに作成)

③ノートパソコンに入っているソフトの一例

4月よりノートパソコンの貸与が行われ、ICT機器を活用した授業を中心に進められていきます。
ノートパソコンに入るソフトをご紹介します。

1. English4skills (イングリッシュフォースキルズ)

- これからの時代に必要な英語力が身につく。
 - 必須技能である「Listening (聞く)」「Reading (読む)」「Writing (書く)」「Speaking (話す)」を総合的に身につけることができます。
- オンライン学習でもきめ細やかに指導できる。
 - 指導が難しく、フィードバックに時間がかかってしまう学習もリアルタイムでフィードバックができます。学校でも自宅でもどこでもきめ細やかな学習が可能となります。
 - 10段階のレベルチェックテストを行うことで生徒一人ひとりの理解度レベルを把握できます。
 - 英検についても、過去問や面接の流れ動画を用いた模擬演習が可能になり、英検に特化した学習も可能となります。

2. Navima (ナビマ) (教科: 国数英社理)

- 問題を間違えた際やわからなかった際に使用できる「お助け機能」
 - 問題を間違えたりわからなかったりしてもその問題を解説する動画などを見ることができ、子どもたちが自分で選び、自分のペースで学習することができます。
- リアルタイムでこどもの進捗状況を把握できる「管理機能」
 - クラスの習熟度が一覧で把握できる機能。授業中の子どもがどこでつまづいているのリアリアルタイムで把握できる機能があるため、先生によるクラス全体の学習状況の確認が容易になり授業の効率化が図れます。



④黒板に加えて大型電子黒板が設置されます。

ノートパソコンの導入に合わせ、鹿嶋市内公立小中学校の普通教室及び特別支援教室の全教室に1台ずつ設置します。

電子黒板は、オンラインでの授業が行える他、書画カメラなどを使用してお手本を示したり、他の周辺機器を使用することで、更なる教育の発展につながります。

○電子黒板の特徴

- ①タッチパネル式で、画面上への書き込み等に対応。
- ②静止画や黒板では表現できない動画など音と映像を使った様々な授業資料の提示。
- ③準備した教材や前回の授業のまとめを瞬時に提示することが可能。
- ④インターネットの接続により、オンライン授業での活用が可能。(ZoomやGoogle Meetなど)



↑普通教室、特別教室に設置される電子黒板

⑤通信ネットワークの整備を進めています。

ノートパソコンの導入に伴い、現在鹿嶋市内全公立小中学校の無線LANの配線工事を行っています。

小中学校の普通教室、特別教室、体育館、武道館(中学校のみ)で、ノートパソコンが授業中いつでも使用できるようにしています。

工事の終了は3月25日(木)を予定しております。



アントラーズキャリアデザイン教室が実施されました。

令和3年1月22日(金)、アントラーズの小泉文明取締役社長が、「メルカリ代表取締役会長」として、大野中学校2年生を対象に、特別授業「キャリアデザイン教室」を行いました。

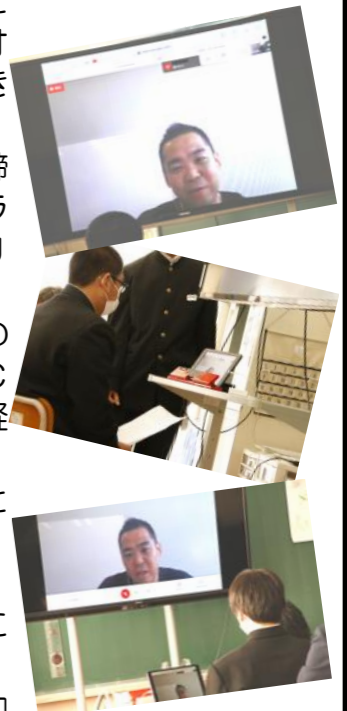
当日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、東京のメルカリ本社と大野中学校をオンラインで繋ぐリモート授業となりましたが、鹿野中学校もオンラインで繋ぎ、同校の2年生も同時にライブ配信で授業を受けることができました。

この取組みは、「鹿嶋市における地方創生事業に関する包括連携協定」を締結しているアントラーズの協力のもと実現したものであり、プロサッカークラブのパートナー企業関係者が公立中学校で特別授業を実施するのは、ほかのJリーグクラブでも例をみない初の試みです。

小泉さんは、自身の人生の出発点であるとする中学校時代から、担当案件の失敗で自殺も考えた大和証券SBC時代、取締役執行役員最高財務責任者(CFO)として企業部門全体を統轄していたミクシィ時代、そしてメルカリの経営に携わり、アントラーズの取締役社長になるまでの道のりを語るなかで、「自分の将来を変えられるのは自分の意志と行動次第。だけど、すべてのことは一人では解決できない。成果を一緒に喜び合える仲間を大切に。」と述べ、子どもたちの関心を惹きつけていました。

今の子どもたちが社会で活躍する10年後には、急速な情報化社会の進展によるグローバル化の影響により、さらに多様化した時代となります。子どもたちが自立し、自身の手で未来を切り拓くには、学校生活での学びに加え、未知の知識や体験に興味と関心を持ち、生涯にわたって学び続けたいという意欲をかき立てるきっかけが必要です。

教育委員会では、今後ともアントラーズと協力し、子どもたちの社会への関心を高めるとともに、生涯にわたるキャリアを形成していく基盤を培う機会を提供していきます。





Let's study English in Kashima! To make your dreams come true!

(英語を勉強するなら鹿嶋市へ。夢をかなえよう！)



鹿嶋市は英語教育特区として、国際化に対応できる人材の育成に努めており、国際社会の中で通用するコミュニケーション能力の育成や、異文化理解の推進をしています。そのために発達段階に応じた系統的な英語教育の充実を図っています。

就学前から各園にALTを派遣して英語に慣れ親しんでもらい、小学校1年生から外国語活動を始めます。小学校で培ったコミュニケーション能力をさらに発展させるため、中学校では、「コミュニケーション英語」を取り入れた授業を推進しています。

①鹿嶋市が目指していること

- (1) 自分で考え、伝え、行動できる子どもたちの育成。
- (2) CEFR A1レベル相当以上(英検3級程度以上)の英語力を有する中学3年生(65%以上の人数)。
- (3) ふるさと「鹿嶋」の魅力を英語で伝えることができる子どもたちの育成。
- (4) 英語の必須技能である ①Listening(聞く) ②Reading(読む) ③Writing(書く) ④Speaking(話す)の教育の充実。


②実現するための取組む事業

- (1) 意図的な活用する場の提供(イングリッシュラウンジ、海外派遣事業、私立高校留学生英語交流など)
※感染症の状況によっては中止。
- (2) すべての中学校でオールイングリッシュのコミュニケーションクラスを実施。
- (3) 英語力を確かめるための場の提供の外部試験の導入(GTEC Coreなど)

教育委員会教育委員の辞令交付式が行われました。

この度、信樂 愼(しがらき あきら)氏が再任となり、令和3年1月5日(火)に鹿嶋市役所で鹿嶋市教育委員会教育委員の辞令交付式が行われました。平成25年1月に就任されてから3期目となります。これからも引き続きよろしくお願ひします。

令和3年4月に実りの木保育園が開園します。

保育園名：	実りの木保育園 (みのりのき ほいくえん)	所在地の地図 
運営：	社会福祉法人 翔天会	
住所：	〒314-0047 鹿嶋市大字須賀1335番1	
電話番号：	0299-84-4771	
利用定員：	0歳児 3名 1歳児 6名 2歳児 6名 4歳児20名 5歳児20名 6歳児20名 計75名	
保育方針：	<p>①子どもたちが安心して生活できる環境を整え、一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、心と体を育む愛情あふれる保育を行います。</p> <p>②主体的な遊びや体験を通して、自ら考え、工夫する「学びの芽」を大切に育てていきます。</p> <p>③保護者と保育者、地域の方々と共に子どもの育ちを喜び合える保育園を目指します。</p>	<p>周辺地図</p> 